政務活動費　活動実績報告書

件名	シェアリングシティフォーラム２０２６
使途	1 調査研究費　　○　2 研修費　　3 要請・陳情活動費
金額	６３６０　円
期日	令和　８年　７月３１日（月）
場所	福岡（大名カンファレンス）
目的	人口減少や少子高齢化が進む中、地方自治体では交通、観光、空き家活用、地域コミュニティの維持など、様々な課題への対応が求められている。本フォーラムでは、シェアリングエコノミーを活用した地域課題解決の先進事例や自治体の取組について学び、八女市における政策立案の参考とすることを目的として参加した。
参加者	坂本治郎　１名
所感	本フォーラムでは、シェアリングエコノミーを単なる民間サービスではなく、地域に存在する遊休資源や人材を有効活用し、地域課題の解決につなげる政策として位置付けていることが印象的であった。 特に、人口減少が進む自治体では、行政だけで全ての課題を解決することは難しく、地域住民や民間事業者、デジタル技術を組み合わせながら新たな公共サービスを構築していく考え方は、今後ますます重要になると感じた。 また、交通空白地域への対応、空き家活用、観光・インバウンド、関係人口の創出などは八女市においても共通する課題であり、先進自治体の取組は大いに参考となった。一方で、制度導入に当たっては、安全性や既存事業者との調和、地域住民の理解を得ることも不可欠であり、地域の実情に応じた慎重な制度設計が重要であると感じた。 今後は、本フォーラムで得た知見を参考に、八女市の地域特性に適したシェアリングエコノミーの活用方法について引き続き調査研究を行い、交通、観光、空き家活用などの地域課題解決につながる政策提案に生かしていきたい。